

1. 科目名 (単位数)	社会学概論 (2単位)	3. 科目番号	GELA1113 GELA1334
2. 授業担当教員	若狭 清紀		
4. 授業形態	講義・ディスカッション・グループワーク	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>本科目は、国が定める社会福祉士および精神保健福祉士の養成カリキュラムにおける「社会学と社会システム」(旧カリキュラムでは「社会学理論と社会システム」)に対応するものである。対人援助職に就く者には、被援助者とそのニーズを、社会的な関係性の中で把握することが求められる。人間は社会的な関係の中で生まれ育つものであるし、援助を必要とするような問題(ニーズ)も社会的関係の中から生ずるものだからである。こうしたことから、援助職に就こうとする者には、人間を取り巻く「社会」のなりたちや変化について観察・分析する学問である社会学の学習が必要となるのである。</p> <p>この講義では、社会学の基本的な考えかたと対象について幅広く取り上げる。また、国家試験などで求められる社会学の基本的な用語や知識についても学習する。</p>		
8. 学習目標	<p>学生には下記の目標を達成することが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会についての基礎知識を身につけて、物事をその社会的背景から考えられるようになる。 2. 人間と社会の関係について学び、人間を社会的関係の中で捉えられるようになる。 3. 社会問題について深く考察できるようになる。 4. 人々の生活について多角的に考えられるようになる。 5. さまざまな社会学の理論について学び、社会的な考え方ができるようになる。 		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<p>毎回の授業の学習の記録を、指定する書式で提出してもらう。</p> <p>夏休み前(秋期開講の場合は冬休み前)に、「自分の生活史、生活経験に関して、いくつかのテーマを設定して、教科書の記述と関連させながら社会的に考察しなさい。」という設題のレポートを提出してもらう。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 3 社会学と社会システム』中央法規出版、2021</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会学の理論や人間と社会の関係を理解し、説明できるようになったか。 ・現代社会や社会問題についての理解をもとに、自分の考えを述べることができるか。 <p>○評定の方法</p> <p>授業への参加姿勢等 20%</p> <p>レポート等の提出物 50%</p> <p>授業内容の理解度の評価 30%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>日頃から社会の状況や社会問題について関心を持ち、ニュース・新聞などで報道される情報に注意深くあるようにして下さい。</p>		
13. オフィスアワー	<p>別途通知する。</p>		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	イントロダクション ～社会とは何か、社会学とは何か、社会学の歴史	事前学習	教科書第1章(pp.2～26)を読む。
		事後学習	学習記録への記入
第2回	社会システム ～社会システムとは、社会システムの構造と機能、社会階層システム	事前学習	教科書第2章第1節(pp.28～39)を読む。
		事後学習	学習記録への記入
第3回	組織と集団 ～集団と組織の違い、集団の分類、フォーマル・グループとインフォーマル・グループ、官僚制、全制的施設、非営利組織	事前学習	教科書第2章第2節(pp.40～50)を読む。
		事後学習	学習記録への記入
第4回	人口 ～人口転換、日本の人口高齢化、日本の少子化、日本の移動	事前学習	教科書第2章第3節(pp.51～64)を読む。
		事後学習	学習記録への記入
第5回	社会変動とグローバリゼーション ～社会変動とは何か、近代社会への移行、社会変動の要因と諸相、グローバリゼーションの状況と影響	事前学習	教科書第2章第4節・第5節(pp.65～87)を読む。
		事後学習	学習記録への記入
第6回	地域 ～地域とコミュニティ、日本におけるコミュニティ、ソーシャルキャピタル	事前学習	教科書第2章第6節(pp.88～102)を読む。
		事後学習	学習記録への記入
第7回	社会的格差 ～格差と貧困、雇用格差、教育格差、健康格差	事前学習	教科書第3章第1節(pp.112～122)を読む。
		事後学習	学習記録への記入
第8回	差別と偏見 ～社会的排除と社会的包摂、偏見に関する諸概念、差別解消への取り組み、新しい差別現象	事前学習	教科書第3章第3節(pp.134～144)を読む。
		事後学習	学習記録への記入
第9回	家族とジェンダー(1) ～家族に関する基本的概念、ジェンダーと近代家族論	事前学習	教科書第4章第1節の1・2(pp.154～163)を読む。
		事後学習	学習記録への記入
第10回	家族とジェンダー(2) ～近年における家族変動	事前学習	教科書第4章第1節の3(pp.163～169)を読む。
		事後学習	学習記録への記入
第11回	労働 ～労働市場の性質とルールの導入、労働をめぐる国際的な取り組みと日本の特徴	事前学習	教科書第4章第3節(pp.183～193)を読む。
		事後学習	学習記録への記入
第12回	世代 ～ライフサイクルとライフステージ、ライフコー	事前学習	教科書第4章第4節(pp.194～205)を読む。

	ス、個人化する社会と社会問題	事後学習	学習記録への記入
第13回	自己と他者 ～クーリーの「鏡に映った自己」、ミードの自己形成論	事前学習	教科書第5章第1節 (pp. 208～213) を読む。
		事後学習	学習記録への記入
第14回	社会化 ～社会化の定義、家族における社会化、大人の社会化	事前学習	教科書第5章第2節 (pp. 214～219) を読む。
		事後学習	学習記録への記入
第15回	相互行為 ～行動と行為の違い、相互作用論、構築主義、公共圏、社会問題と相互行為	事前学習	教科書第5章第3節 (pp. 220～227) を読む。
		事後学習	学習記録への記入